



地域包括ケア（自費）シリーズ① 住居系サービス（自費）利用までの流れ

私がお伝えします



社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
医療ソーシャルワーカー



住居系サービスの利用を考えたとき、「何から始めればよいか分からない」という声をよく耳にします。住居系サービスの利用は、流れを知ることですぐと身近になります。本資料では、選択から入居までの基本的なステップをわかりやすくご紹介します。

利用するための流れ

住居系サービスの利用には〈選ぶ→見学→契約→入居準備〉の順に進めるのが基本です。

まず、介護度や希望条件に合った施設を選びます。次に、見学や体験入居で雰囲気を確認し、納得できたら契約へ。契約時には、費用やサービス内容を詳しく確認しましょう。その後、必要書類を揃え、持ち物の準備をして入居となります。段階ごとにチェックしながら進めると安心です。

利用のステップ

① 施設の選択

② 見学・体験入居

③ 契約内容の確認・契約

④ 入居準備・入居



実際の選び方の手順

入居にあたっては、いくつかの準備が必要です。生活が始まってから困らないよう、事前準備をしっかりと行うことが大切です。

● 書類

住民票・本人確認書類・健康診断書・保証人の同意書などが必要となります。



● 費用

入居一時金や敷金、月額の生活費があり、医療対応費などの追加費用も確認しておきましょう。



● 持ち物

衣類・寝具・日用品に加えて、必要に応じて家具や家電も準備します。



Column

体験入居をしてみませんか？

パンフレットだけではわからないことも多い住まい選び。体験入居は“実感”を得られる大切な機会です。

雰囲気チェック

スタッフの対応や共用スペースの様子を観察しましょう。



食事体験

味や量、自分に合うかを確認しましょう。



居室の使い心地

寝具や照明、温度などを体験してみましょう。



入居者の声

直接話すことでリアルな感想が聞けます。



(2025.3.19)

画像提供：PIXTA

